

8/20
(水)

ふれあい交流会 手話で話そう「こんにちは」

船穂公民館グループ「手話サークル スイートピー」の皆さんを講師に迎え、小学1年生から3年生の子どもたち39名が参加しました。今年は2クラスに分かれて、講師の方からの体験談をお聞きしたり、手話でのあいさつや自己紹介の仕方を教わったりしました。最後の質問タイムでは子どもたちからのリクエストで「うさぎ」や「犬」などいろいろな動物の名前を講師の方に手話で教えてもらい、楽しそうに実践していました。

参加した子どもたちからは、「自分の名前を手話で伝えることができて楽しかった」「いっぱい覚えることができて楽しかった」などの感想が寄せられ、手話を身近に感じることができた時間になったようです。



一人ずつ手話で名前を
教えてもらいました。



手話で自己紹介をしました。

人権ほのぼの写真募集中



※写真はイメージです

日常を写したほっとするような写真を募集します。応募された写真は、12/4～10の人権週間に、公民館ホワイエにA4サイズでプリントして展示します。応募方法は、次の3通りです。皆様の応募お待ちしています！

- ① A4判のプリント持参
- ② CDもしくはUSBのデータ持参
- ③ 船穂公民館にメールで送付

e-mail: ph-hunao@kurashiki-oky.ed.jp



メールの二次元コードはこちら ➔

6/13
(金)

研修視察 国立療養所長島愛生園

梅雨の合間の晴天のもと、長島愛生園（瀬戸内市）へ研修視察に行きました。長島愛生園歴史館では、展示資料やビデオを見ながら学芸員さんからとても丁寧な説明を受けました。その後、収容棧橋や収容所、監房、納骨堂などを巡り見学しました。ハンセン病について正しく理解し、差別や偏見のないすべての人の人権が尊重される社会を実現していかなければならないと改めて思いました。



←入所者の方の作品



参加者の感想

- ・かつての当事者の方々の苦悩を思うと胸が苦しくなります。今の平和を感謝します。亡くなってしまった家に帰ることができないということは本当に辛く感じます。
- ・何度も訪れていますが胸がしめつけられる思いがします。
- ・研修視察に参加し大変勉強になりました。ハンセン病隔離政策など深く知りたいと思いました。
- ・学芸員さんの言われたように少しでも多くの方にハンセン病のことを理解していただけるよう、私たちも人々に伝えていくことが大事だと思いました。
- ・島の生活は厳しいものだったとは思いますが、音楽や芸術を楽しむ「生きる」ことの力強さを感じました。

結
び
あ
う
心

発行
倉敷市船穂中学校区
人権学習推進委員会

事務局
倉敷市船穂公民館
船穂町船穂 1697
TEL 552-2600


